

第36回

花いっぱいコンクール 受賞花壇

本紙4頁のかわら版千歳で紹介した「第36回花いっぱいコンクール」の最優秀賞に選ばれた6団体を写真とともにご紹介いたします。

今年度は、190団体が参加し、6団体が最優秀賞に、24団体が優秀賞に選ばれました。また、フラワーロード部門において、通算3回の最優秀賞を受賞したあずさ町内会が「名誉花壇」に認定されました。

あけぼの団地町内会

あんじゅ認定こども園

町内会の部 最優秀賞

講評

町内会全員で参加を心掛けていた花壇は、配色のバランスが良く、1つ1つの花が大きく育っています。人を惹きつける力があり、町内会花壇の見本となるような花壇です。



幼稚園等の部 最優秀賞

講評

駐車場から玄関前までの空間に設置された花壇は優しい色合いで植栽され、丁寧に管理されています。登園する子どもたちや来園者の心を和ませるような花壇となっています。



北進小中学校

北海少年院

小学校の部 最優秀賞

講評

開校53周年の花文字がくっきりと浮かびあがった花壇は印象的です。趣の異なるカラフルな児童玄関横の花壇も手入れがよく行き届き、大きく明るく咲いて来校者を迎えています。



中学校等の部 最優秀賞

講評

命と心をテーマとした花壇は、花や蝶などをモチーフとして構成され、表現する工夫が感じられます。院生と職員が協力して維持管理を行い将来に向けた夢や希望を感じる花壇です。



グループホームひまわりの家

あずさ町内会

福祉施設の部 最優秀賞

講評

50個以上の寄せ植えは丁寧に管理され、玄関前を鮮やかに彩っています。施設に通う車いすの方も屈むことが難しい方も、花に触れたり世話ができるように立体的に配置されています。



フラワーロード部門 最優秀賞

講評

あずさ地区の防風林沿い500m以上にわたり2色のペゴニアが植栽されています。車で通過する時や遠くから眺めた時に見渡すほどの直線上に花が並んでいる風景は壮観です。



厚生労働省委託事業 令和5年度高齢者活躍人材確保育成事業

シルバー人材センターで働き 60歳からの生活を豊かに!

千歳市シルバー人材センター 説明会のご案内

参加無料

シルバー人材センターの仕組や入会方法等をご案内する説明会を開催します。市内3カ所で開催しますが、内容は同じですので、ご都合に合わせてご参加ください。

対象 千歳市にお住まいの60歳以上の方で、臨時や短期、短時間での軽易な就業を希望する方

日時 ① 9/27(水) 14:00~16:00
② 9/28(木) 14:00~16:00
③ 9/29(金) 14:00~16:00

会場 ① 千歳市シルバー人材センター(千歳市本町3丁目11番地)
② 富丘コミュニティセンター(千歳市富丘4丁目12-16)
③ 花園コミュニティセンター(千歳市花園4丁目2-5)

定員 各会場とも10名(先着順)

9月26日(火)17時まで以下記のどちらかでお申し込みください。

■電話受付(千歳市シルバー人材センター) ■千歳市シルバー人材センターでの受付

TEL.0123-26-2277 千歳市本町3丁目11番地



まちかどトピックス

日常生活と音楽のつながりを体験
市民教養セミナー

千歳市教育委員会生涯学習課が主催する市民教養セミナー「日常にある音から始まる音楽～楽器作りから音を楽しむ～」がさきごろ、千歳市総合福祉センターで行われました。スティールパン、チェロ、ギターの3人組音楽



ユニット「カントジファ」を講師に迎え、市民約35人が参加。音楽の成り立ちについてのレクチャーやミニコンサート、空き缶を加工する楽器作りのワークショップなど、日常生活と音楽のつながりを体験する講座を受講しました。

カントジファの3人は、それぞれ手に持った楽器を演奏しながら登場。数曲を演奏するミニコンサートを行い、曲間には楽器や音楽の成り立ちについて講話しました。終盤では、サバやツナの缶詰の空き缶を使って作ったオリジナルの打楽器を紹介。音階がある金属製の打楽器「スティールパン」を演奏する伊澤陽一さん(写真左)が、製作や演奏の方法を説明しました。

楽器作りのワークショップでは、コンサートで使われた空き缶の打楽器を参加者自ら製作。空き缶をハンマーで叩いて凹ませることで、特定の音を奏でる打楽器を作り上げ、最後に合奏を楽しみました。